

2010.2.6



2009年の演奏を振り返って



プログラム

昨2009年は、辻井伸行の「ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」優勝に日本中が湧きました。それと同時にアラベラ・美保・シュタインバッハーをはじめ多くの優れた若手演奏家が台頭してきた年でもありました。一方で、今年79歳になるチェコの名指揮者エリシュカは2006年に初めて日本のオーケストラに客演して以来急速に評価が高まり、昨年はN響から見事な音を引き出しました。中村絃子はデビュー50周年の記念リサイタルを開き、円熟の演奏を聴かせてくれました。共にベテラン健在です。今日は昨年行われた演奏会、昨年FM等で放送された演奏の中から、日本の演奏家を中心に注目の演奏、魅力溢れる演奏をお聴きさせていただきます。ティーレマンを迎えたウィーン・フィルのパリでの演奏も合わせてお楽しみください

ベドルジハ・スメタナ (1824~1884):

連作交響詩“わが祖国”～

交響詩“モルダウ” / 交響詩“フラニーク”

ラドミル・エリシュカ指揮NHK交響楽団

(2009.2.7 NHKホールでのLive)

ヨハネス・ブラームス (1833~1897):

ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.77 ～抜粋

アラベラ・美保・シュタインバッハー(ヴァイオリン)

クリストフ・フォン・ドホナーニ指揮北ドイツ放送交響楽団

(2008.7.13 リューベック国際会議場でのLive)

*** 休憩 ***

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):

“エクモント” 序曲op.84

クリスティアン・ティーレマン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(2009.11.16 パリでのLive)

フランツ・シューベルト (1797~1828):

即興曲op.90 ～第3番変ト長調 / 第4番変イ長調

中村絃子 (ピアノ)

(2009.9.19 サントリーホール)

セルゲイ・ラフマニノフ (1873~1943):

ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18

辻井伸行(ピアノ)

下野竜也指揮読売日本交響楽団

(2009.12.10 オーチャードホールでのLive)